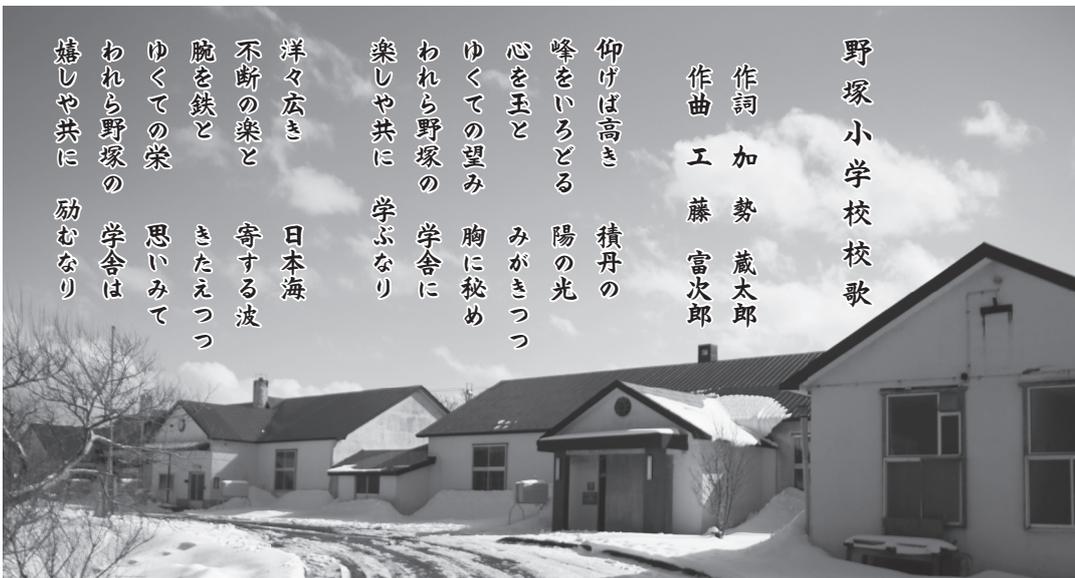


野塚小学校閉校式典
 明治・大正・昭和・平成・令和の
 野塚の歴史を見守り続けた学舎



野塚小学校校歌

作詞 加勢 蔵太郎
 作曲 工藤 富次郎

仰げば高き 積丹の
 峰をいろどる 陽の光
 心を玉と みがきつつ
 ゆくての望み 胸に秘め
 われら野塚の 学舎に
 楽しや共に 学ぶなり

洋々広き 日本海
 不断の楽と 寄する波
 腕を鉄と きたえつつ
 ゆくての栄 思いみて
 われら野塚の 学舎は
 嬉しや共に 励むなり

4月から美国小学校に統合となる野塚小学校の閉校式が3月2日(日)に行われ、遠方から卒業生や地域住民、学校関係者など約80人の方々が出席し、133年の歴史と思いの詰まった校舎との別れを惜しみました。

町主催の式典では、松井町長の告示、原教育長の式辞、新居後志教育局長や岩本町議会議長、来賓挨拶、児童への記念品贈呈などに続き、校長から教育長、町長へと校旗の返納が行われました。

式典では市川淳子校長が「最後の一年、子どもたちが確かな学びとたくさんの楽しい思い出を携えて、新たな学校へ向かうことができよう精いっぱい努力しました。これまで本校の教育活動に想い

を寄せていただきました全ての皆さまに、心から感謝します。」と挨拶をしました。

野塚小学校は明治24年、簡易科野塚小学校として開校し、昭和38年に小・中併置校となり、その後、平成11年に中学校が閉校し小学校単置校となりました。

児童数は昭和30年の130人をピークに減少し続け、平成15年以降10人以下で推移し、最終年の今年度は、郷六太陽さん(2年)、



▲児童作詞の「ぼくらの野塚小学校」を発表する野塚小最後の在校生4人

郷六龍海さん(6年)、佐藤灯平さん(6年)の4人でした。

児童からは、「野塚小学校の最後の卒業生として、この素晴らしい学校で学べたことを誇りに思います。僕たちを育ててくれた野塚小学校のことを絶対に忘れません。野塚小学校での思

年号	年	月	概要
明治	24	4	簡易科野塚小学校として開校
	28	4	野塚尋常小学校に改称
昭和	15	9	創立50周年記念式典挙
	16	4	野塚国民学校に改称
	22	4	積丹郡入舸村立野塚小学校に改称
	31	9	積丹郡積丹町立野塚小学校に改称
	37	4	野塚中学校が現在地に校舎新築落成し開校
	38	4	野塚小学校新築校舎が中学校に併設
	平成	210	
11		4	野塚中学校が閉校し野塚小学校単置校として出
令和	7	3	閉校式典・思い出を語る会

い出、僕たちを支えてくださった方々への感謝の気持ちを胸に、自分の夢に向かって、未来へ進んでいきます。」と、お別れの言葉を述べていました。

また、式典に引き続き行われた「思い出を語る会」では、児童による学校の歴史やふるさと学習の発表、ゆかりある各世代の方々からの思い出のスピーチに続き、野塚町出身のミュージシャンで「ぼくらの野塚小学校」の作曲者でもある山田友和さんのミニコンサートが動画で行われ、校歌をアレンジしたハーモニカの哀愁に満ちた音色に、参加者は感慨深い表情で聞き入っていました。